



## 平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユークス

コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 平成28年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年1月期第3四半期の連結業績(平成28年2月1日～平成28年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	3,210	△18.8	388	△67.9	110	△91.1	69	△91.2
28年1月期第3四半期	3,955	17.3	1,212	135.2	1,249	135.0	793	148.7

(注)包括利益 29年1月期第3四半期 67百万円 (△91.6%) 28年1月期第3四半期 804百万円 (147.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	8.08	—
28年1月期第3四半期	91.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年1月期第3四半期	6,027	3,800	63.0
28年1月期	4,969	3,819	76.9

(参考)自己資本 29年1月期第3四半期 3,800百万円 28年1月期 3,819百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年1月期	—	0.00	—		
29年1月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年1月期の連結業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,387	△16.9	416	△66.9	432	△66.8	281	△65.6	32.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期3Q	11,096,000 株	28年1月期	11,096,000 株
29年1月期3Q	2,444,871 株	28年1月期	2,444,871 株
29年1月期3Q	8,651,129 株	28年1月期3Q	8,651,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府による経済政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いております。一方で、新興国を中心とした海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響により、景気が下押しされるリスクはなお存在しております。

当社に関連するゲーム業界におきましては、据え置き型ゲーム機と携帯型ゲーム機の特徴を併せ持つ新型ハード「Nintendo Switch」や、高忠実度VR（仮想現実）および4Kゲームに対応した新型ハード「Project Scorpio（開発コードネーム）」が発表されております。また、プレイステーション4用として平成28年10月に発売され、対応ソフトが続々とリリースされている周辺機器「PlayStation VR」とともに、今後の展開に注目が集まっております。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、主力シリーズの最新作「WWE 2K17」（Xbox One・プレイステーション4・Xbox 360・プレイステーション3用）が平成28年10月に海外にて発売されております。

自社ソフトでは、ダウンロード専用タイトルである、ロボットファイティング／ボクシングゲーム「REAL STEEL」（Xbox LIVE・PlayStation Network用：平成23年10月発売）の販売を継続しております。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、3タイトルの画像開発プロジェクトが終了しております。

自社オリジナルコンテンツでは、AR（拡張現実）技術を駆使した、ウチダラボのキャラクタープロジェクト「AR performers」におきまして、平成28年4月に秋葉原で開催し1,000人を集めたβライブにおいて使用された楽曲のCDを8月に発売しております。また、平成28年11月には公式ファンクラブサイト「Artists Republic Supporters」を立ち上げ、平成29年1月に開催が予定されている「AR performers 1st A' LIVE」のライブチケットを、ファンクラブ会員向けに先行して抽選受付開始した他、文化放送のラジオ番組「A&G TRIBAL RADIO エジソン」内におきましてAR performersが出演するトーク番組「Amazing Radio Performers」を展開しております。その他、新たな事業展開の一環として、音楽権利ビジネスの根源である著作権、著作隣接権その他音楽にかかわる権利の取得および管理を集中的に行うための子会社「ユークスミュージック株式会社」を平成28年11月に設立しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,210百万円（前年同期比19%減）、為替差損が発生したため、経常利益は110百万円（前年同期比91%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同期比91%減）となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,058百万円増加し6,027百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加317百万円、売掛金の増加690百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,077百万円増加し2,227百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加1,600百万円、未払法人税等の減少419百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して18百万円減少し3,800百万円となりました。主な要因としては、四半期純利益69百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年1月期決算短信（平成28年3月11日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,090,058	3,407,232
売掛金	567,894	1,258,676
商品	-	5,094
仕掛品	221,268	188,442
その他	160,324	218,266
貸倒引当金	△364	△158
流動資産合計	4,039,181	5,077,553
固定資産		
有形固定資産	78,607	65,842
無形固定資産	21,591	28,356
投資その他の資産	829,805	855,714
固定資産合計	930,005	949,913
資産合計	4,969,187	6,027,467
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	-	1,600,000
未払金	322,260	221,323
未払法人税等	432,608	13,096
前受金	74,113	63,305
賞与引当金	95,512	158,002
その他	97,321	35,549
流動負債合計	1,021,815	2,091,278
固定負債		
長期未払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	65,828	73,494
その他	250	250
固定負債合計	128,278	135,944
負債合計	1,150,094	2,227,223
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	3,689,306	3,672,665
自己株式	△738,303	△738,303
株主資本合計	3,796,122	3,779,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,236	20,905
為替換算調整勘定	6,733	△144
その他の包括利益累計額合計	22,969	20,761
純資産合計	3,819,092	3,800,243
負債純資産合計	4,969,187	6,027,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	3,955,428	3,210,464
売上原価	2,098,289	2,073,830
売上総利益	1,857,138	1,136,633
販売費及び一般管理費	644,292	747,889
営業利益	1,212,846	388,743
営業外収益		
受取利息	10,332	22,891
受取配当金	1,082	689
為替差益	23,106	-
その他	2,847	2,897
営業外収益合計	37,369	26,477
営業外費用		
支払利息	1,071	1,181
為替差損	-	303,154
その他	113	26
営業外費用合計	1,184	304,361
経常利益	1,249,031	110,859
税金等調整前四半期純利益	1,249,031	110,859
法人税等	455,109	40,988
四半期純利益	793,922	69,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	793,922	69,870

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	793,922	69,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,869	4,668
為替換算調整勘定	705	△6,877
その他の包括利益合計	10,574	△2,208
四半期包括利益	804,497	67,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804,497	67,662
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間(自平成27年2月1日至平成27年10月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年10月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。